17 パートナーシップで目標を達成しよう

Industry and Ideas Crossover KUSATSU
挑戦がつながり、新たな価値が生まれる場所。

挑戦がつながり、新たな価値が生まれる場所

～ Industry and Ideas Crossover KUSATSU ～

草津市は、ものづくり企業・大学・人々が集まるまちです。
新しいことに挑戦する企業や人を応援し、これからの産業をつくります。
挑戦者とともに新しい価値を生み出し、持続可能な未来をめざします。

問 企業立地推進室（７階）☎561-2352、FAX561-2489

産官学金連携でつくる共創のフィールド

市では、大学や企業、金融機関、支援機関など異なる立場の組織が力を合わせ、地域課題の解決や新しいビジネスの創出に取り組んでいます。協定から交流、研究、実証、事業化という段階を通じて、さまざまな組織がつながり、新しい挑戦を新たな価値の創出につなげていきます。７月28日には、立命館大学、公益社団法人関西経済連合会とともにGIC CONNÉCTというイベントを開催しました。地域企業やスタートアップ※、行政、大学、金融機関などから192人が参加し、情報交換が行われるとともに新しいつながりが生まれました。

※先進的なアイデアや技術を強みに、新しいビジネスを創り出し、短期間で急成長を遂げる企業のこと

これからの産業を、草津から

市では、地元発のスタートアップの創出・成長・集積を推進し、起業家を支援する仕組みづくりを進めています。

❶COMMUNITY CAMPUS +R @Kusatsu

立命館大学と協力し、起業に関心のある大学生や社会人を対象にした起業家育成プログラムです。参加者に新しい時代を切り拓くための考え方・知識・ネットワークを提供しています。

❷実証実験支援事業

スタートアップが新しい技術やサービスを試す際の費用や手続きを支援しています。市内での実証実験を通じて、社会課題の解決と市民生活の向上を実現するとともに、地域経済の活性化、産業振興につながることをめざしています。

―実証実験の紹介―

実証実験の内容

自律移動ロボット「わっこ」を使った実証
- 宿場まつりで、時代行列の先導やお弁当配達　など
- 市役所で、来庁者への案内や乳幼児健診会場でのコミュニケーション　など

実証実験の成果

市役所での実証では、画面で「市民課」「保険年金課」「お手洗い」などを選ぶと、行き先を音声で知らせながら、実際にその場所まで先導しました。目標地点から15cm以内の場所まで案内する精度で、人が行き交う中でも、立ち止まって道を譲りながら安全に進みました。一方、屋外走行による機体の損傷など、コンピュータ上のシミュレーションでは想定しきれなかった課題も見つかりました。

今後の展望

実際のまちなかでの実証実験で得た課題を解決することで、ロボットが社会の一員として活躍できます。今後、市内の商業施設などでも実証を重ね、施設案内や巡回、設備点検など、人手不足が課題となる現場での活用をめざします。

―実施事業者はこちら―

カナリア　テック
Kanaria Tech 株式会社

企業情報　令和４（2022）年設立。立命館大学の現役学生が創業した、大学発のロボットスタートアップです。ロボットがセンサーなどを使わず、カメラの映像だけで周囲を理解し、自分の居場所を判断し、自己学習する独自のナビゲーションモデルのAI「KRM」を開発しています。

新たな連携により、取り組みを加速

４月17日に関西経済連合会と「イノベーション創出に資する連携協定」を締結しました。すでに協定を締結している地域では、アントレプレナーシップ※セミナーの開催をはじめ、さまざまな活動を実施しています。市でも、イノベーションの創出、スタートアップ支援、企業ネットワークの構築により、社会課題の解決や地域経済の活性化を図っていきます。

※さまざまな困難や変化に対し、自ら考え、課題を解決する能力や行動力のこと